OSAKAN PREMIERE CONCERT

～WASBE会長グレン・プライス氏を迎えて～

去る2009年5月16日(土)、豊中市立ローズ文化ホールにおいて、「OSAKAN PREMIERE CONCERT ～WASBE会長グレン・プライス氏を迎えて～」を開催しました。

このコンサートは、副題にもありますように、WASBEの会長であるグレン・プライス氏を客演指揮者に迎えてのプレミアコンサートでした。グレン・プライス氏はカルガリー大学(カナダ)のバンドを指揮されており、国際的な指揮者としても高い評価を得られています。そんな素晴らしい方の指揮の下でコンサートを開催出来たことを、とてもうれしく思っています。

そして特別ゲストには、人気作曲家である樽屋雅徳氏をお迎えし、第一部は樽屋氏の作品『真実に響くアトリの鐘』、『マゼランの未知なる大陸への挑戦』、『トビアスの家を去る大天使ラファエル』の３曲を演奏いたしました。樽屋氏には開演前にプレトークをしていただきました。日頃の作曲の仕方などをお話いただきましたが、なんと彼は鼻歌で作曲をされるようです。すごい!!

第二部はケネス・ヘスケス作曲『ダンセリーズ』、伊藤康英作曲『吹奏楽のための交響詩「ぐるりよざ」』を演奏いたしました。

本番の様子

リハーサル初日、グレン氏とはじめてお会いしましたが、第一印象は紳士！でした。グレン氏は、コンサートの全曲目をリハーサル初日から暗譜していらっしゃいました。これには本当に一同仰天でした。熱心にオオサカンと向き合って下さるグレン・プライス氏に、私達も最大限演奏で応え、とても良いリハーサルとなりました。

(左)樽屋雅徳氏、(右)グレン・プライス氏

今回の曲目の中で私が一番印象深かった曲は、『トビアスの家を去る大天使ラファエル』です。曲は木管楽器で神秘的に始まり、広大に広がる陸と海を想像させるような旋律へと変わっていきます。中間部では物語に基づき、難関を表現した激しいところ、後半ではその難関を突破し、壮大なクライマックスを迎えます。グレン・プライス氏もこの曲には思い入れがあったようで、本番ではリハーサルにも増して、熱く、激しい演奏となりました。

コンサートには沢山のお客様に御来場頂き、大盛況のうちに幕を降ろすことが出来ました。そして、本番後の打ち上げ！もちろんグレン・プライス氏にもご参加いただき、皆でおいしいお酒を飲むことが出来ました。実はこれが１番の楽しみだったりします(笑)

最後になりましたが、コンサートに御来場下さったお客様をはじめ、御協力、御尽力頂きました方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

小坂智美

♪ 楽 員 紹 介 ♪

寺本　純子
TERAMOTO, Junko

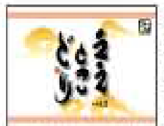
★パート：クラリネット
★使用楽器：SELMER 10SⅡ
★使用マウスピース：Vandoren B40
★星座：てんびん座
★血液型：B型
★趣味：歩くこと(時間があればひたすら歩きます。ちなみにいつもヒールで歩いてます)
★一番好きな吹奏楽の曲
　祝典序曲

★いつから始めたか、またそのきっかけは？
中学１年。本当はテニス部に入りたかったのですが、母親にほぼ強制的に(笑)当時なぜかクラリネットという楽器だけが頭の中に強くあって、第一希望を出したら特に人気のある楽器でもなく………即クラリネットになりました♪今となってはここまで好きになれた楽器に出会わせてくれた母親に感謝です☆☆☆

★ひとこと
よく怖そうって言われますがただの照れ屋さんなだけなので御了承ください。後、よくコケるのでご注意ください☆

当団のおすすめＣＤ／演奏：フィルハーモニック・ウインズ 大阪
オオサカンええとこどりシリーズ

■ええとこどり vol.2
福島 弘和／交響的詩曲「西遊記」


品番：YOMO-2003

交響的詩曲「西遊記」（福島弘和）／序曲「ポンセ・デ・レオン」（ジョセフ・オリヴァドーティ）／ウィークエンド・イン・ニューヨーク（フィリップ・スパーク）／吹奏楽のための「風之舞」（福田洋介）／笑顔は我が故郷に（ジェームス・スウェアリンジェン）

他

指揮／木村 吉宏　定価：2,500円（税込）

■ええとこどり vol.1
トビアスの家を去る大天使ラファエル

レコード芸術
2007年9月号
特選盤！
品番：YOMO-2001

ビューティフル・オレゴン（ジェイムズ・バーンズ）／序曲「バラの謝肉祭」（ジョセフ・オリヴァドーティ）／アレックス教授の冒険物語（清水大輔）／夢への冒険（福島弘和）／トビアスの家を去る大天使ラファエル（樽屋雅徳）

他

指揮／木村 吉宏　定価：2,500円（税込）

■小編成ええとこどり
喜歌劇「メリー・ウィドウ」セレクション

品番：YOMO-2004

セレブレーション～管楽器と打楽器のための（ジェームス・スウェアリンジェン）／ハロエプ（大原野）（酒井格）／喜歌劇「メリー・ウィドウ」セレクション（フランツ・レハール、arr.鈴木英史）／ブローニュの森（樽屋雅徳）／元禄（櫛田胅之扶）

他

指揮／加養 浩幸　定価：2,500円（税込）

■アンサンブルええとこどり①
G.ラングフォード／ロンドン小景

品番：YOMO-2002

パラサイティック・ジョイ（清水大輔）／コラールと舞曲（ヴァーツラフ・ネリベル）／セカンド・バトル（天野正道）／リムナスティック・ゲーム（西原大輔）／バッハ・シーケンス（森田一浩）／ロンドンの小景（ゴードン・ラングフォード）

他

定価：2,500円（税込）

お知らせ

★二〇〇九年十二月十二日に、大東市立総合文化センター（サーティホール）において、オリタノボッタ氏の指揮でクリスマスコンサートを開催いたします。

★二〇一〇年一月十日に開催予定でしたニューイヤーコンサートを、諸般の事情により一月九日に変更し、豊中市立ローズ文化ホールにおいて開催いたします。

★二〇一〇年三月十三日に、大東市立総合文化センター（サーティホール）において、ウインドバンド・フェスティバル、10を開催いたします。

編集後記

先月十四日、オオサカンはアメリカ合衆国オハイオ州シンシナティにて開催されたWASBE（世界吹奏楽大会）でのコンサートを無事に終え、帰国いたしました。これまでファンの皆様から熱いエールを送っていただき、コンサートでは「なにわ節」を存分に発揮出来たのではないでしょうか？世界に大阪の音楽を発信出来たものと確信しております。

さて、帰国してからほっと息をつく間もなく、次に控えているのは創立10周年記念の第7回定期演奏会です。これまでで一番規模の大きな演奏会であり、何かと慌ただしくなりそうですが、楽員一同嬉しい悲鳴を上げつつ、ファンの皆様の期待を裏切らない素晴らしい記念演奏会にするべく、全力疾走してまいります。今後も、ますますのご声援、よろしくお願いいたします。

編集部

2009年8月１日(土)発行

Winds.next

OSAKAN Magazine
NO.15
summer

フィルハーモニック・ウインズ 大阪

発行　フィルハーモニック・ウインズ 大阪 編集部
〒567-0815
大阪府茨木市竹橋町9番1号(有)ティータイム内
TEL：06-6493-7721　FAX：06-6493-7721
E-mail：info@osakan.jp　URL http://www.osakan.jp

2009年7月10日シンシナティ音楽院にて

創立１０周年記念　第７回定期演奏会

今年、遂にオオサカンは創立10周年を迎えました。これもひとえに、ご支援・ご協力いただき応援してくださいました皆様のおかげです。そして、10周年を記念し、会場をザ・シンフォニーホールに移して第7回定期演奏会を開催いたします。

プログラムは、先日のWASBE(世界吹奏楽大会)のために委嘱し演奏いたしました長生淳作曲『遥かなる山』をはじめ、今回の演奏会の為に書き下ろしていただく森田一浩氏の新曲、そして大栗裕作曲『大阪俗謡による幻想曲』などを選曲いたしました。これまでのオオサカンの集大成をどうぞお聴きください。

また、演奏会のプログラムを兼ねて創立10周年記念誌を発行いたします。是非ご購入の上、演奏会をお楽しみください。記念誌はチケットとの同時購入がお得です。

■日　時：2009年10月2日(金) 18:30開演(17:30開場)
■会　場：ザ・シンフォニーホール(JR大阪環状線「福島」駅下車徒歩10分。JR東西線「新福島」駅・阪神電鉄「福島」駅下車徒歩13分。)
■入場料：S席/3,500円　A席/3,000円　B席/2,500円　C席/2,000円(当日各500円増し)　学生席(高校生以下)/1,500円
■指　揮：木村吉宏(当団音楽監督)

■チケット購入

Eメールで購入
ticket@osakan.jp

●学生席は当団のみの取り扱いとなります。席数に限りがありますので、お早めにご購入ください。
●ご予約の際は、お名前・券種(S席・A席・B席・C席・学生席)・希望枚数をご記載ください。
●フレンズ会員・賛助会員の方は会員番号をご明記ください。

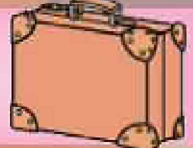
創立10周年記念誌　チケットと同時購入で　定価 ~~1,200円~~ → **1,000円！** メールに希望数をご明記ください。

チケットぴあで購入
8月2日(日)発売開始！ Pコード 331-261
(会員割引は出来かねます。予めご了承ください。)

Contents

♪創立10周年記念 第7回定期演奏会 開催
♪WASBE出演レポート
　～オオサカン☆アメリカ演奏旅行記～
♪オオサカン・プレミア・コンサート 後記
♪楽員紹介
♪おすすめCD
♪お知らせ
♪編集後記

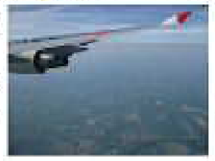
WASBE出演レポート
～オオサカン★アメリカ演奏旅行記～



2009年7月7日(火)日本を発ち、アメリカ合衆国オハイオ州シンシナティにて開催された
WASBEでのコンサートを終え、14日に無事帰国いたしました。
その8日間の思い出をレポートにしてみました！

7.7 Tue

7:00大阪伊丹空港集合。スーツケースにカバン、そして楽器と、大荷物をかかえての集合です。始発の電車やバスに乗ってきたメンバーも多く、昨夜は一睡もしていない人も！



8:25に大阪伊丹空港発、成田空港を経由してシカゴへ。現地時間の7月7日9:30にシカゴに到着しました。入国審査や税関などを経て、11:00頃バスでシンシナティに向けて出発。およそ7時間にも及ぶバスの旅でした。

部屋に荷物を置いて、ホテル横のレストランでビュッフェ形式の夕食をいただき、今夜は早めの就寝です。

7.8 Wed

午前中は時間があったので、ホテル近くのコンビニへ、食糧の買い出しに行きました。何故か"ニコイチ"が多い店内(笑)

午後からは、シンシナティ音楽院内で練習。10日のメインコンサートで『アンセム』の指揮をしていただくM. キャンプハウス氏も来てくださり、リハーサルを行いました。

夜はRoyal Northern College of Music Wind Orchestraのコンサートを鑑賞。難しい曲をたくさん演奏されていて、圧倒されました。コンサートが終わってホテルに着いたのは22:30頃。

明日は朝から本番です。

7.9 Thu

6:30からホテルのレストランでビュッフェ形式の朝食をいただきました。豪華なレストランに、朝からテンションが上がります！

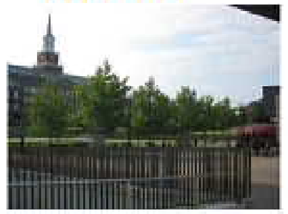
7:30にはホテルのロビーに集合。バスに乗り、シンシナティ音楽院に向かいました。シンシナティ音楽院内のホールにて8:30からレパートリーセッションが開催されます。ウォーミングアップもそこそこに、いきなりステージの上です！

ここでは、後藤洋氏作曲の『FANTASMA LUNARE』をはじめ、新譜を6曲演奏いたしました。明日のメインコンサートを控え、今日はオオサカン初の海外での演奏。朝8:30からの演奏会というのは、日本では行われる事のない時間なのでどうなることかと思いましたが、後藤氏のトークや会場のお客様の穏やかな様子の中、無事に40分程のコンサートを終えました。

午後からは明日のコンサートの練習です。今日の練習は、ゲストコンダクター4名全員がお越しくださいました。昨日もお会いしたM. キャンプハウス氏、日本での共演以来、久し振りの再会であるD. ギリングハム氏、G. プライス氏、そして今日初めてお目にかかる、とってもユニークなD. ジョンソン氏。アメリカンジョーク満載で、オオサカンとは気が合いそうです（笑）

さて、アメリカに来て今日で3日目です。そろそろ疲れがたまり始め、早朝から本番を終えた身にはとてもきつい一日でした。しかし、明日はいよいよメインコンサートの日。1年半前からこの日に向けて準備してきました。その成果が存分に発揮出来るよう、今夜は予定を繰り上げてホテルに戻りました。明日は"なにわの歌ごころ"を世界に発信します！！

7.10 Fri



いよいよやって来ました。夢にまで見たこの日が。WASBE（世界吹奏楽大会）での、メインコンサートでの演奏！！

午前中は、体調を万全に整える為、予定は入っておらずゆっくりと過ごすことが出来ました。

そして、午後からリハーサル開始。前半のリハーサルは、当団音楽監督である木村吉宏氏が指揮する4曲の最終調整をしました。この4曲は、全て邦人作品です。アメリカの地で日本色たっぷりの作品を演奏できる事に改めて興奮し、リハーサル中からとても楽しみでした。休憩を挟んで後半は、ゲストコンダクター4名によるリハーサル。みなさんがオオサカンを指揮することを楽しみにして下さっていて、お一人お一人の思い入れがとても伝わってきた特別なリハーサルで、何か言葉では言い表せない気持ちがこみ上げて来るようでした。コンダクターのオオサカンに対する情熱と、大阪の地で応援してくださる皆様の想いを胸に、20:00ついに開演です！

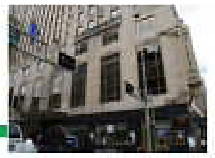
1曲目の『輝く日への前奏曲』は、金管楽器の華々しいファンファーレで始まりました。パワーがみなぎり、いよいよ始まったコンサートを盛り上げるのに相応しい演奏でした。続いての2曲はゲストコンダクターのD. ギリングハム氏とD. ジョンソン氏の指揮による演奏。D. ギリングハム氏は、第4回定期演奏会で共演した時に取り上げた曲をバリエーションに再編された『センチュリー・バリアント』を指揮してくださいました。そしてD. ジョンソン氏が指揮してくださったのは、浪花英朗作曲『天空の檻』です。この曲は、2年前の春にオオサカンが東京（第10回「響宴」）で演奏した思い出の作品です。第1部最後は今回のための委嘱作品、長生淳作曲『遥かなる山』です。今までの人生で演奏してきた中で、他に類を見ないような、なかなか手強い作品でした。休憩後、第2部は伊藤康英作曲の『吹奏楽のための「北海変奏曲」』で幕を開けました。「ソーラン節」をモチーフにした、大変華やかな作品です。続いての曲は、M. キャンプハウス作曲の『アンセム』をご本人の指揮で演奏いたしました。そして、G. プライス氏の指揮による、樽屋雅徳作曲『トビアスの家を去る大天使ラファエル』、最後には大栗裕作曲『吹奏楽のための大阪俗謡による幻想曲』を木村吉宏氏の指揮で演奏いたしました。"なにわの歌ごころ"全開の、渾身の演奏だったと思います。会場は割れんばかりの拍手で溢れ、全員総立ちのスタンディングオベーション。感無量でした。コンサートの後は、今回のWASBEに推薦してくださった秋山紀夫氏（WASBE名誉会員）や、4名のゲストコンダクターなど、大勢の方々とのレセプションを行い、大変充実した時間を過ごしました。

明日はもう、オオサカンはシンシナティを去ってしまいます。美味しいお酒を飲んだり、いろいろな方と交流したりしながら思い思いの夜を過ごしました。

お知らせ

オオサカンのホームページの活動日記からも、WASBEの様子やアメリカでの楽員の活動の様子がご覧いただけます。是非一度覗いてみてください。皆さんのコメントも受け付けております。
活動日記は左のQRコードで携帯からもご覧になれます。

7.11 Sat



4日間過ごしたシンシナティとのお別れの日です。少しさみしいですが、いろいろな方と出会い、貴重な体験が出来ました。たくさんの思い出を胸に、今度は一路シカゴへ！！

移動の途中、バスのタイヤがパーストするというハプニングに見舞われましたが、大事には至らず。旅にハプニングは付き物！？

明日は一日、羽を伸ばします！！

7.12 Sun

今日は一日自由行動！！

観光する人、ショッピングする人、ひとり旅を楽しむ人、寝て過ごす人…etc。みんな、様々な過ごし方だったようです。

シカゴは過去に起きた大火によって市街地の大半が焼けてしまったため、歴史的なモニュメントが少なく、新しい都市です。しかしそれでも観光名所はたくさん！！シカゴを満喫するには、一日では足りませんでした。

また、ブランドショップが軒を連ねる通りもあり、ショッピングメインの方も存分に楽しんでいたようでした。

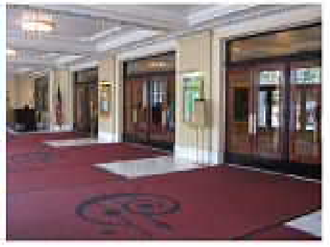
そして何と言っても、シカゴに来たからにはシカゴシンフォニー！シカゴシンフォニーのコンサートを聴きに行って過ごしたメンバーもいました。本拠地で聴く生の音は、また一味も二味も違ったと思います。

シカゴ市内には大変立派な建造物が数多く存在します。超高層ビルもあり、そこから望む夜景は格別。

朝から深夜まで、観光にショッピングにと、余すところなく遊べます。

アメリカに来て6日目。あっという間でした。

いよいよ明日の朝、帰路につきます。



7.13 Mon

8:00ホテルのロビーに集合。

昨日一日遊んだ疲れと荷造りの疲れで、眠い目をこすりながらゾロゾロと集合です。お土産でパンパンになったスーツケース。重量オーバー者続出です（笑）

土産話もいっぱい持って帰ります！！

7.14 Tue

およそ12時間のフライトを終え、無事成田空港に到着。国内線に乗り継ぐまでに時間がたっぷりあったので、ここで久しぶりの和食を口にしたメンバーもたくさんいたと思います。やはり、日本食は落ち着きます。

そして20:00頃、大阪伊丹空港へと帰ってきました。全員、事故も病気もなく無事に帰国出来てなによりです。そして、コンサートも無事に終えることが出来ました。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました！！